

脳神経外科

1. 概要

当科では現在8人の常勤医がおり、各専門領域の医師を配置して、新生児から超高齢者まで脳神経外科疾患のほぼ全ての領域を対象に、可能な限り当院にて治療が完結できるよう努めている。高侵襲な手術から、血管内治療（脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈狭窄ステント拡張術等）や神経内視鏡手術（脳内血腫除去術、経鼻下垂体腫瘍摘出術、水頭症手術等）等の低侵襲かつ最先端の治療の導入も積極的に取り入れている。最近では、急性期脳梗塞に対するカテーテル血栓除去術の症例が増え、従来の治療では救えなかった症例に対して良好な成績を築いている。また来年度には hybrid 手術室が完成予定であり、より難易度の高い脳血管障害に対応できるよう準備をしている。

なお、現時点では脳卒中ケアユニットについては、設置基準を満たすだけの人的余裕がなく、神経内科の先生方との協力も含め、今後の課題である。一方、「穂の国脳卒中パス」を活用して脳卒中患者の円滑な地域連携に努めている。

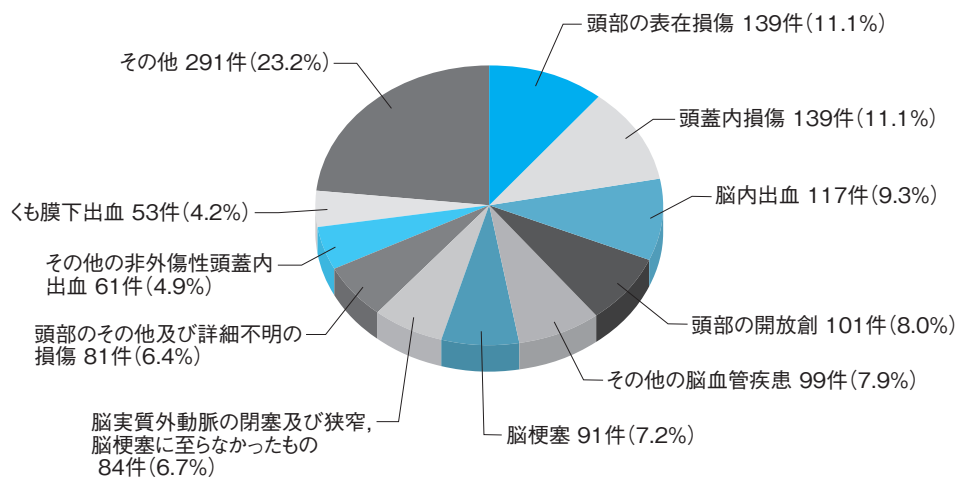
スタッフ一同、地域の皆様に広く親しまれ信頼される病院にすべく、より良い治療成績を目指して行く所存である。

(第一部長 雄山 博文)

(文責 第二部長 若林 健一)

2. 新規登録疾患

総数：1,256件



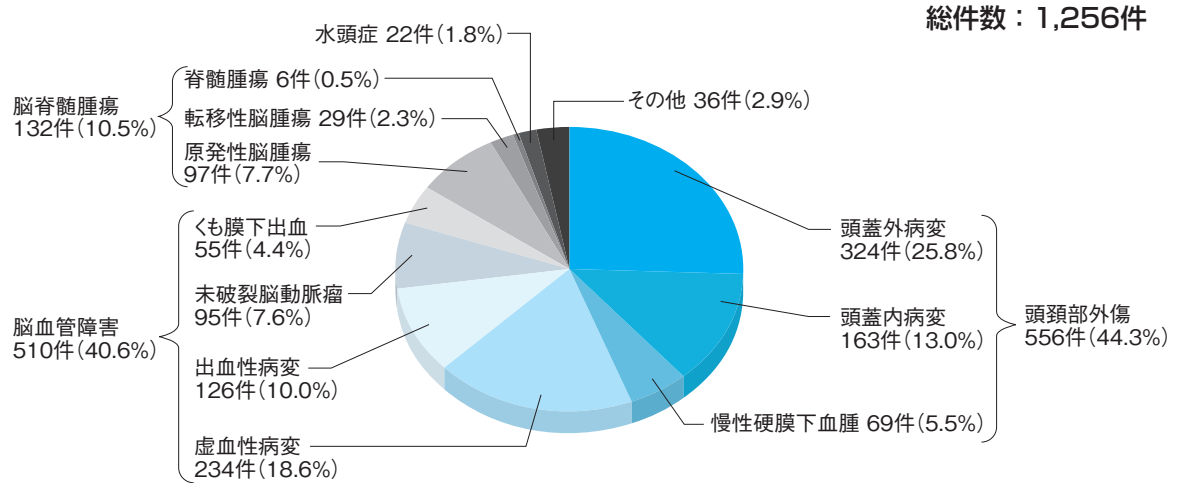
疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
頭部の表在損傷	頭皮の表在損傷	138	S000
頭蓋内損傷	外傷性硬膜下出血	37	S065
	外傷性くも膜下出血	30	S066
脳内出血	(大脳)半球の脳内出血, 皮質下	68	I610
	脳内出血, 詳細不明	31	I619
頭部の開放創	頭皮の開放創	86	S010
その他の脳血管疾患	脳動脈瘤, 非破裂性	71	I671
	脳血管疾患, 詳細不明	10	I679
脳梗塞	脳梗塞, 詳細不明	49	I639
	脳動脈の血栓症による脳梗塞	15	I633
脳実質外動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らなかったもの	頸動脈の閉塞及び狭窄	76	I652
頭部のその他及び詳細不明の損傷	頭部の詳細不明の損傷	81	S099
その他の非外傷性頭蓋内出血	硬膜下出血(急性) (非外傷性)	61	I620
くも膜下出血	くも膜下出血, 詳細不明	16	I609
	中大脳動脈からのくも膜下出血	12	I601

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	11,725人	年間外来新患者数	1,997人
年間入院患者数	12,681人	年間入院新患者数	670人

(2) 疾患群別に見た症例数



(3) 血管内手術件数

術式	件数(件)
経皮的血管形成術	30
急性期再開通療法	24
脳動脈瘤塞栓術	21
硬膜静脈瘻塞栓術	3
脳動静脈奇形塞栓術	1
その他の血管内手術	8
計	87

学会発表（医局）

<脳神経外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	医師 区分
1	治療を行った脳脊髄液減少症5例の経験	筆頭演者	雄山 博文	第40回日本脳神経外傷学会	東京都	2017/3/10	
2	錐体静脈を残す事ができず小脳の出血性梗塞を起こした、錐体骨髄膜腫の1例	筆頭演者	雄山 博文	第46回日本脳卒中の外科学会学術集会	大阪市	2017/3/16	
3	頭蓋内に生じたanaplastic large cell lymphomaの1例	筆頭演者	横山 勇人	第92回日本脳神経外科学会中部支部学術集会	松本市	2017/4/8	S
4	転移性脳腫瘍に対する分子標的薬の使用経験：3例の報告	筆頭演者	雄山 博文	第22回日本脳腫瘍の外科学会	鹿児島市	2017/9/8	
5	楔前部、後部帯状回より摘出術を行った、左頭頂葉内側部の転移性脳腫瘍の1例：高次脳機能障害について	筆頭演者	雄山 博文	第22回日本脳腫瘍の外科学会	鹿児島市	2017/9/9	
6	頭頸部外傷をきたした、当院における虐待症例について	筆頭演者	雄山 博文	日本脳神経外科学会第76回 学術総会	名古屋市	2017/10/14	
7	反復性頭部皮下出血を呈した皮膚腫瘍の1例	筆頭演者	若林 健一	日本脳神経外科学会第76回 学術総会	名古屋市	2017/10/14	
8	医原性の総頸動脈解離性閉塞に対し、外科的血栓除去術と総頸動脈の結紮を要した一例	筆頭演者	佐藤 雅基	第33回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会	東京都	2017/11/24	